### 客観的評価指標に対応する事後評価項目

#### <事業採択の前提条件に対応する事後評価項目>

	評価項目	効果の 有無	補足事項(場所・データ等)
事業の効率性	交通量の状況(新規事業採択時(再評価時)の予 測値との比較 <sup>1</sup> 、乖離の要因等)	-	平成12年(全線供用)の平均交通量は約14,900台/日であり、 推計交通量の平均交通量(約23,500台/日)の約6割
	旅行速度向上の状況(新規事業採択時(再評価時)の予測値との比較 、		一般国道 24 号利用で 37 km/h から京奈道路利用で 78 km/h に 約 41 km/h 向上(城陽~木津) 資料道路時刻表より
	交通事故の低減の状況(新規事業採択時(再評価時)の予測値との比較 <sup>1</sup> 、乖離の要因等)		当該道路及び並行道路(国道 24号)(城陽~木津) →死傷事故件数 103件/年(H2)から120件/年(H17) →死傷事故率 92.6件/億台*□から73.5件/億台*□ →京奈道路の事故率は5件/億台*□であった(H17) [資料センサス、西日本高速㈱資料より
	事業費・維持管理費の状況(新規事業採択時 (再評価時)の予測値との比較 <sup>2</sup> 、乖離の要因 等)	-	事業費 計画:744 億円 → 実績:1,260 億円 要因:消費税導入、物価上昇、道路構造変更、大規模地すべ り復旧費用等
	事業期間短縮(遅延)による社会的便益(損失)・ (便益増減額と費用増減額を計測)	-	費用增加: 188 億円 便益減少:955 億円(H17 年基準)
	費用対効果分析の結果(新規事業採択時(再評 価時)との比較)		B/C = 3.6(H17 基準年)
事業実施環境	新規事業採択時(再評価時)の事業実施環境か らの変化の状況	-	該当無し

- 1 予測値が存在しない場合、事前の実測地との比較を可とする。 2 コストについて、計画と実績の比較がデータの制約により困難な場合は、実績の確認を行うだけでよい。

#### <事業の効果や必要性の評価に対応する事後評価項目>

政策	5目標	評価項目	効果の	補足事項(場所・データ等)
大項目	中項目	☆は	有無	開定事項(物用 ) ブラ)
1.活 力	円滑な E t'リ ティの確保	並行区間等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率		5,290,273 千人·時間/年→5,275,319 千人·時間/年 19,130 千人·時間/年(0.4%削減) 本州全体 資料定量的評価指標の算出方法(案)より
		並行区間等における混雑時旅行速度が 20km/h 未満であった区間の旅行速度の 改善状況	-	該当無し
		当該路線の整備によるバス路線の利便性 向上の状況		学研都市内(17 便(H17 現在))の運行開始 京田辺市〜関西国際空港間(2 便(H17 現在))の運行開始 宇治市〜関西国際空港間(2 便(H17 現在))の運行開始
		新幹線駅へのアクセス向上の状況		奈良市~JR 京都駅 所要時間 1 時間 21 分→1 時間 4 分 17 分短縮 資料道路時刻表より
		第一種空港、第二種空港、第三種空港も しくは共用飛行場へのアクセス向上の状 況		京田辺市〜関西国際空港(第 1 種空港) 所要時間 1 時間 51 分 →1 時間 37 分 14 分短縮 資料道路時刻表より
	物 流 効 率 化の支援	特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の 発着港湾へのアクセス向上の状況		京田辺市 ~ 大阪港(特定重要港湾) 所要時間 1 時間 15 分 → 1 時間 1 分 14 分短縮 資料道路時刻表より
		農林水産業の主体とする地域から大都市 圏への農林水産品の流通の利便向上の 状況		JA ならけん五条支店 ~ 京都市中央卸売市場 所要時間 2 時間 46 分 → 2 時間 29 分 17 分短縮 資料道路時刻表より
	都市の再 生	都市再生プロジェクトの支援に関する効果	-	該当無し
		三大都市圏の環状道路が形成(又は一部 形成)されたことによる効果	-	該当無し
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづ くりとの連携に関する効果	-	該当無し
	国土·地域 ネットワ <i>ー</i>	当該路線が新たに拠点都市間を高規格 幹線道路で連絡するルートを構成する		京都市(政令指定都市)~奈良市間
	クの構築	当該路線が隣接した日常活動圏中心都 市間を最短時間で連絡する路線を構成す る。	-	該当無し

政策	<b>策目標</b>	並佈15日	効果の	神兄東西(提所・データ笙)	
大項目	中項目	評価項目	有無	´   補足事項(場所・データ等) 	
1.活 力	国土・地域 ネットワー クの構築	日常活動圏の中心都市へのアクセス向上 の状況		精華町~京都市(日常活動圏の中心都市) 所要時間 1時間15分 → 1時間6分 9分短縮 精華町~奈良市(日常活動圏の中心都市) 所要時間 22分 → 15分 7分短縮 資料道路時刻表より	
	個性ある地域の形成	拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援に関する効果		関西学術文化研究都市が立地する京奈道路沿道の市町の人口の伸び: 京田辺市 1.4 倍 精華町 2.1 倍 木津町 2.3 倍 (S58→ H16) 同都市(同都市の平城・相楽地区~京都市)への所要時間 1 時間 28 分 → 1 時間 4 分 24 分短縮 資料道路時刻表より	
		IC等から主要な観光地へのアクセス向上による効果		京都市〜沿道観光施設(川西観光苺園) 所要時間 1時間16分 → 58分 18分短縮 資料道路時刻表より	
		新規整備の公共公益施設と直結されたこ とによる効果		JR 京都駅 ~ 私のしごと館 ~ 近鉄奈良駅 所要時間 1 時間 37 分 → 1 時間 7 分 30 分短縮 資料道路時刻表より	
2.暮らし	安全で安 心できる〈 らしの確保	三次医療施設へのアクセス向上の状況		精華町→国立京都病院(京都市) 所要時間 55分 → 46分 9分短縮 資料道路時刻表より 京田辺市→県立奈良病院(奈良市) 60分圏域 30分圏域 資料道路時刻表より	
3.安 全	安全な生 活環境の 確保	並行区間等における交通量の減少による 安全性向上の状況	-	該当無し	
	災害への備え	対象区間が、都道府県地域防災計画、 緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震 対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヵ年計画に 位置づけのある路線(以下「緊急輸送道 路」という)として位置づけあり		京阪神都市圏広域防災拠点整備基本構想 第1次緊急輸送道路(京奈道路)	
		緊急輸送道路が通行止めになった場合に 大幅な迂回を強いられる区間の代替路線 を形成		一般国道 24 号(京阪神都市圏広域防災拠点整備基本構想 第1次緊急輸送道路) 代替路 京奈道路(城陽~木津)	
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能	-	該当無し	
		並行区間等の事前通行規制区間、特殊 通行規制区間又は冬期交通障害区間の 代替路線を形成	-	該当無し	
4.環 境	地球環境 の保全	対象路線の整備により、削減される自動 車からの CO2 排出量		178,173,728t-CO2/年→178,022,248t-CO2/年   151,480t-CO2/年(0.09%削減) 本州全体   資料   定量的評価指標の算出方法(案)より	
	生活環境 の改善・保 全	並行区間等における自動車からの NO2 排 出削減率		218,918t-NOx/年→218,605t-NOx/年 313t-NOx/年(0.1%削減) 資料定量的評価指標の算出方法(案)より	
		並行区間等における自動車からの SPM 排 出削減率		11,249t - SPM/年→11,233t - SPM/年 →16t - SPM/年(0.1%削減) 本州全体 資料定量的評価指標の算出方法(案)より	
		並行区間等で騒音レベルが夜間要請限 度を超過していた区間の騒音レベルの改 善の状況	-	該当無し	
5.その他	他のプロシーェクトとの関係	その他、環境や景観上の効果 他機関との連携プログラムに関する効果	-	該当無し	
	その他	地元小売業への影響		・京奈道路沿道である京田辺市、精華町、木津町の小売業販売額 2.27 倍(S63 年→H16)	
		地域の生活への貢献		・当該地域周辺に木津川を渡る橋がなかったため、生じていた迂回を解消、橋梁部に自歩道を設置)。 ・木津川を挟んだ京田辺市~宇治市、城陽市、久御山町の通勤・通学者数 約2倍(S60年→H7年)に増加	

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道24号	京奈道路	L=17.0km	一般国道	-

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
11,100 ~ 32,900	2	近畿地方整備局 西日本高速道路(株)

#### 費用

	事業費	維持修繕費	合 計
基準年		平成17年度	
単純合計	1,245億円	421億円	1,666億円
基準年における 現在価値 (C)	2,296億円	328億円	2,624億円

### 便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計	
基準年	平成17年度				
供用年	平成 1 2 年度				
単年便益 (初年便益)	386億円	5億円	3億円	394億円	
基準年における 現在価値 (B)	9,284億円	111億円	84億円	9,478億円	

### 結 果

費用便益比(B / C )	3.6
---------------	-----

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

# 交通状況の変化

事業名:京奈道路(城陽~木津)

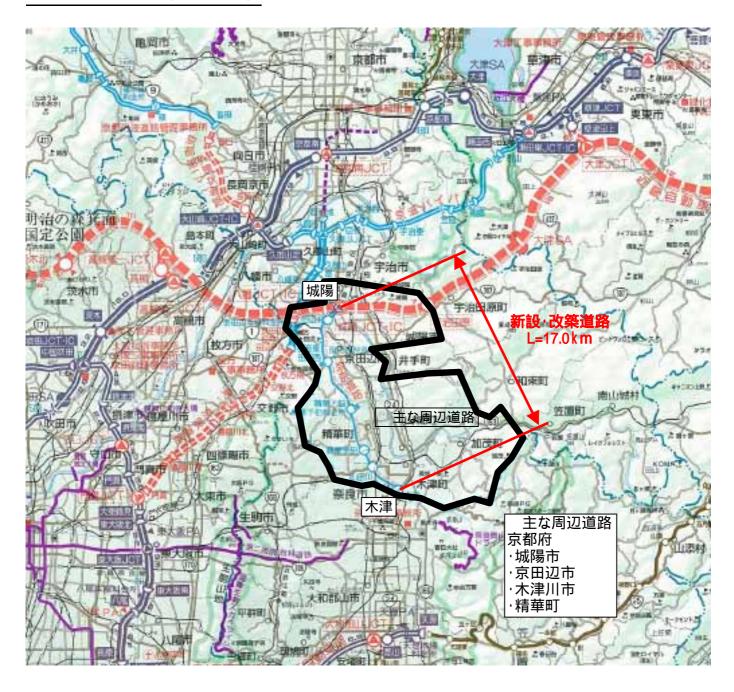
(推計時点 H33年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
实.	改築道路	走行台キロ	[万台km/日]	0	33
[城陽~	以来追出 ~ 木津] '.0km	走行台時	[万台分/日]	0	31
. 17	·UKIII	走行時間費用	[億円/年]	0	82
		走行台キロ	[万台km/日]	396	389
主な周 辺道路	華町	走行台時	[万台分/日]	673	551
		走行時間費用	[億円/年]	1,804	1,483
	道路合計 48.8km	走行時間費用	[億円/年]	684,312	684,147

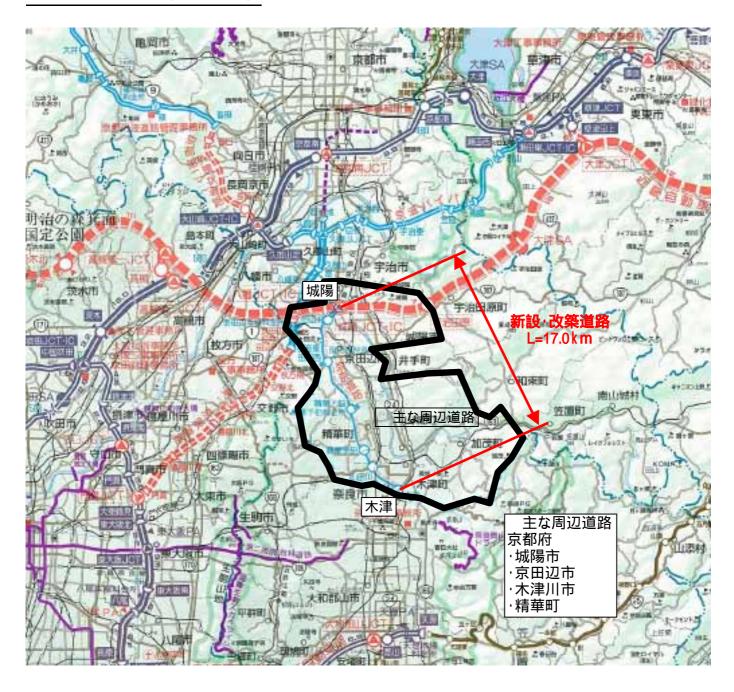
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:135078.2km 対	走行時間短縮便益	[億円/年]	686,116	685,712	404

四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名:京奈道路(城陽~木津)



事業名:京奈道路(城陽~木津)



## 費用便益分析の条件

事業名:京奈道路

(2)

( 2	J		チェック欄
		費用便益分析マニュアル	フェファ 旧利
	算出マニュアル	(平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	
		その他	
		分析対象期間	40年間
5	分析の基本的事項	社会的割引率	4 %
		基準年次	平成17年
	交通流の	1時点のみ推計	(H33)
	推計時点	複数時点での推計	
	##±L 0.1±20	整備の有無それぞれで交通流を推計	
	推計の状況	整備の有無のいずれかのみ推計	有 無
		道路交通センサスをベースとした自動車OD表	
	10 +1	(三段階推定法)	(H11センサス)
	推計に用いた	パーソントリップ調査をベースとした自動車0D表	
	OD表	(四段階推定法)	
		その他( )	
		無	
		有	
	開発交通量の	考慮した開発交通量(トリップ数)	( )台トリップ/日
	考慮	有の場合のみ考慮した理由を記載	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
<u> </u>		Q - V式を用いた配分	
交通		転換率式を用いた配分	
流		Q - V式と転換率式の併用による配分	
推	   配分交通量の	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
計	はカダ過量の 推計手法	簡易手法	
	JEHI J 74	小規模事業である	
		簡易手法の 場合 山間部海岸部で併行道路が少ない	
		その他(	
		その他(	
		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け	
		して設定	
		採用理由を記載	
	速度設定の	最終配分の速度	
	考え方	採用理由を記載	
		   その他(センサスデータを使用し、高規格道路の速度は、道	
		沿道条件・交差点密度等の道路条件を考慮し設定。)	
	•		

(3)

( -	)		項目	チェック欄		
			<b>祝日</b>	フェファ 11利		
		考慮しない				
		考慮する				
	休日交通の		面的に考慮			
	影響	考慮する	対象路線のみ考慮			
		場合のみ	採用した休日係数	(, ) %		
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え7	うを記載		
	交通流推計の	平成15年8月	月12日付け事務連絡に基づく設定			
	時点以外の	その他				
	便益の算定	(	)			
		費用便益分析	fマニュアルの値を使用			
	車種別時間	独自に設定し				
便	価値原単位	算出根拠を添				
便益						
の		费田価共公太	fマニュアルの値を使用			
算	車種別走行	独自に設定し				
定	半性別足1〕 経費原単位	算出根拠を添				
	社員小十世	井田収込とが	11,7,000			
	交通事故減少 便益算定	中央分離帯の				
	世		D有無を考慮しない			
	時間短縮·費用減	考慮しない				
	少·事故減少以外	考慮する				
	の便益	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)				
	その他					
		<b>詳细事業計</b> 面	回による値を採用			
	事業費	標準投資パタ				
費	3.314.32	その他(実統				
用用			見ず来員 frマニュアルの値を使用			
	維持管理費					
の	2017日4月		ミ績値より設定 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、			
算		その他(	)			
定	雪寒費	槙当地域また	は寒冷地域である			
	その他					
4 .	その他					
l						
·····						
l						

### 費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含まず)

採用単価の根拠 事務所等の実績値より設定

笠氏夕, 古本造改					エモルー			
箇所名∶京奈道路				単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)		
			<b>=</b> ** **	- / <b> </b>	17.0	- # /\$ E \		
			事業費		維持修繕			
年次	年度	割戻率	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値		
-17 年目	S 58	2.8163	6	18		(		
-16 年目	S 59	2.6596	6	15		(		
-15 年目	S 60	2.5949	42	108		(		
-14 年目	S 61	2.5093	140	352		(		
-13 年目	S 62	2.3616	123	291		(		
-12 年目	S 63	2.2212	227	504	1			
		2.0293						
-11 年目	H 1		100	202	2	4		
-10 年目	H 2	1.8790	61	115	2	•		
-9 年目	H 3	1.7645	175	308	3	,		
-8 年目	H 4	1.6851	69	116	6	1		
-7 年目	H 5	1.6281	19	31	6	1		
-6 年目	H 6	1.5656	29	46	7	1		
-5 年目	H 7	1.5009	38	57	8	1		
-4 年目	H 8	1.4400	64	92	8	1:		
-3 年目	H 9	1.3718	70	96	8	1		
-2 年目	H 10	1.3437	48	64	8	1.		
-1 年目	H 11	1.3048	25	32	8	1:		
供用開始年次 年目	H 12	1.2484	4	5	10	1;		
1 年目	H 13	1.2203	0	0	11	1;		
2 年目	H 14	1.1794	0	0	12	14		
3 年目	H 15	1.1113	0	0	9	10		
4 年目	H 16	1.0400	0	0	8	Ç		
5 年目	H 17	1.0000	0	0	8	8		
6 年目	H 18	0.9615	0	0	8	8		
7 年目	H 19	0.9246	0	0	8	8		
8 年目	H 20	0.8890	0	0	8	-		
				0				
		0.8548	0	_	8			
10 年目	H 22	0.8219	0	0	8			
11 年目	H 23	0.7903	0	0	8			
12 年目	H 24	0.7599	0	0	8	(		
13 年目	H 25	0.7307	0	0	8	(		
14 年目	H 26	0.7026	0	0	9	(		
15 年目	H 27	0.6756	0	0	9	(		
16 年目	H 28	0.6496	0	0	9	(		
17 年目	H 29	0.6246	0	0	9	Į.		
18 年目	H 30	0.6006	0	0	9	į		
19 年目	H 31	0.5775	0	0	9			
20 年目	H 32	0.5553	0	0	9			
20 年日	H 33		0					
		0.5339		0	9			
22 年目		0.5134	0		9	;		
	H 35	0.4936	0	0	9	•		
24 年目		0.4746	0	0	9	•		
25 年目	H 37	0.4564	0	0	9	•		
26 年目	H 38	0.4388	0	0	9			
27 年目	H 39	0.4220	0	0	9			
28 年目	H 40	0.4057	0	0	9	-		
29 年目	H 41	0.3901	0	0	9			
30 年目	H 42	0.3751	0	0	9			
31 年目	H 43	0.3607	0	0	9			
32 年目	H 44	0.3468	0	0	9			
33 年目	H 45	0.3335	0	0	9			
34 年目	H 46	0.3207	0	0	9			
35 年目	H 47	0.3083	0	0	9			
36 年目	H 48	0.2965	0	0	9			
37 年目	H 49	0.2851	0	0	9			
		0.2741	0	0	9			
38 年目	H 50	0.2741	U	U	9	l .		
	H 51	0.2636	0	-156	9			

1,245

421

単純事業費計

注1)消費税は含まないものとする

注2)供用開始年次は当該道路全線供用とする

注3)事業費はH16年度までは実績値、H17年度以降に残事業費を計上している

注4)評価対象期間最終年における用地残存価値(割引後の用地費)を控除している

#### 便益の現在価値算定表

箇所名:京奈道路

医霊の死亡	т IIII II						9171日 - 水木	XEP0												_	
		┃ 総走行台キロの年次別伸び率		#u=1#	+ (- + 12 \left - \dag T \dag \text{T \dag T											++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		合	計		
	年度				割引率	走行時間短縮便益(億円)					70 <del>/</del> 177 /+	走行経費減少便益(億円)						事故減少便		/= +4 A =1	(億円)
年次	(基準年) H17	乗用車類	畿内陸プロット	全 車	(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	① #±	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	   普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	(3)	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値割戻率4%
	H 12	来用早短 1.01436	0.99897	1.00901	1.2167		37	小至貝初 34	<u>百</u> 垣 貝 彻 50	. H		来用平 2	1 ^ ^ 1	小空貝物	<u>百週貝彻</u> −1	<u>&amp;</u> 51	(A) ^ (Z)	3	3 × (A)	324	
W 44 - 4 1 1 4 4 4	H 13	1 01415	0.99897	1.00893	1.1699	211	39	37	54			2		2	-1	4		3	4	347	
	H 14	1 01396	0.99897	1.00885	1.1249	211	39	37	54		384	2	0	2	-1	4		3	3	348	
	H 15	1.01376	0.99897	1 00877	1.0816	212	39	37	54			2	0	2	-1	4	4	3	3	349	
	H 16	1. 01358	0.99897	1.00870	1,0400	210	39	37	54		354	2	0	2	-1	4	4	3	3	347	
5年目	H 17	1.01340	0.99896	1.00862	1.0000	213	40	37	54	344	344	2	0	2	-1	4	4	3	3	351	35
6年目	H 18	1.01322	0.99896	1.00855	0.9615	215	40	38	55	347	334	3	0	2	-1	4	4	3	3	355	34
7年目	H 19	1.01305	0.99896	1.00848	0.9246	217	40	38	55	351	325	3	0	2	-1	4	4	3	3	359	33:
8年目	H 20	1. 01288	0.99896	1.00841	0.8890	220	41	38	56	355	316	3	0	2	-1	4	4	3	3	362	322
9年目	H 21	1. 01271	0.99896	1.00834	0.8548	222	41	39	57	359	307	3	0	2	-1	4	4	3	3	366	310
10年目	H 22	1. 01255	0.99896	1.00827	0.8219	224	42	39	57	362	298	3	0	2	-1	4	4	3	3	370	304
11年目	H 23	1. 00791	0.99988	1.00540	0.7903	227	42	40	58			3	0	2	-1	4	3	3	3	374	
	H 24	1. 00785	0.99988	1.00537	0.7599	229	43	40	58			3	0	2	-1	4	3	3	3	378	
13年目	H 25	1. 00779	0.99988	1.00535	0.7307	231	43	40	59			3	0	2	-1	4	3	3	2	382	
14年目	H 26	1. 00773	0.99988	1.00532	0.7026	234	43	41	59	377		3	0	2	-1	5	3	3	2	385	
15年目	H 27	1. 00767	0.99988	1.00529	0.6756	236	44	41	60		258	3	0	2	-1	5	3	3	2	389	
	H 28	1. 00761	0.99988	1.00526	0.6496	238	44	42	61		250	3	0	2	-1	5	3	3	2	393	
17年目	H 29	1. 00755	0.99988	1.00523	0.6246	241	45	42	61			3	0	2	-1	5	3	4	2	397	
	H 30	1. 00750	0.99988	1.00521	0.6006	243	45	42	62			3	0	2	-1	5	3	3 4	2	401	
	H 31	1. 00744	0.99988	1.00518	0.5775	245	46	43	62			3	0	2	-1	5	3	3 4	2	405	
	H 32	1.00739	0.99988	1.00515	0.5553	248	46	43	63			3	0	2	-1	5	3	3 4	2	408	
	H 33	1.00144	0.99659	1.00001	0.5339	250	46	44	64			3	0	2	-1	5	3	3 4	2	412	
	H 34	1.00144	0.99658	1.00001	0.5134	250	46	44	64			3	0	2	-1	5	2	2 4	2	412	
	H 35	1.00144	0.99656	1.00001	0.4936	250	46	44	64			3	0	2	-1	5	2	2 4	2	412	
	H 36	1.00144	0.99655	1.00001	0.4746	250	46	44	64	404		3	0	2	-1	5	2	2 4	2	412	
	H 37		0.99654	1.00001	0.4564	250	46	44	64			3	0	2	-1	5	2	2 4	2	412	
	H 38	1.00143	0.99653	1.00001	0.4388	250	47	44	64	404		3	0	2	-1	5	2	2 4	2	412	
27年目	H 39	1. 00143	0.99652	1.00001	0.4220	250	47	44	64	404	170	3	0	2	-1	5	2	2 4	2	412	
	H 40	1.00143	0.99650	1.00001	0.4057	250	47	44	64			3	0	2	-1	5	2	2 4	1	412	
	H 41	1.00143	0.99649	1.00001	0.3901	250	47	44	64	404		3	0	2	-1	5	2	2 4	1	412	
	H 42	1.00143	0.99648	1.00001	0.3751	250	47	44	64	404		3	0	2	-1	5	2	4	1	412	
	H 43		0.99500	0.99608	0.3607	249	46	44	63			3	0	2	-1	5	2	2 4	1	411	
	H 44	0.99650	0.99497	0.99606	0.3468	248	46	43	63		139	3	0	2	-1	5	2	2 4	1	409	
33年目	H 45	0.99649	0.99495	0.99605	0.3335	247	46	43	63			3	0	2	-1	5	2	2 4	1	407	
	H 46	0.99647	0.99492	0.99603	0.3207	246	46	43	63		127	3	0	2	-1	5	2	4	1	406	
	H 47	0. 99646	0.99489	0.99602	0.3083	245	46	43	62			3	0	2	-1	5	1	4	1	404	
36年目	H 48	0. 99645	0.99487	0.99600	0.2965	244	45	43	62			3	0	2	-1	5	1	4	1	403	
37年目	H 49	0. 99644	0.99484	0.99598	0.2851	243	45	43	62		112	3	0	2	-1	5	1	4	1	401	114
	H 50	0. 99642	0.99481	0.99597	0.2741	242	45	42	62		107	3	0	2	-1	5	1	4	1	399	
39年目	H 51	0. 99641	0.99479	0.99595	0,2636	241	45	42	61			3	0		-1	5	1	4	1	398	
合 計	-					9,429	1,754	1,649	2,399	15,231	9,284	110	10	92	-30	182	111	138	84	15,550	9,478